

令和4年2月25日

安芸市福祉事務所
所長 山崎美佳 様

安芸市立土居保育所
所長 前田美智



令和3年度土居保育所園評価報告書

1 保育所における自己評価の記録

月	自己評価
4	<ul style="list-style-type: none">○ 園経営計画（3年程度）の作成○ 本年度の重点目標の設定（評価計画）○ 園評価項目・指標の設定○ 職員への園経営計画・園評価計画の説明
7	<ul style="list-style-type: none">○ 保護者への園評価の説明
8	<ul style="list-style-type: none">○ 中間評価の実施（職員の自己評価、園の自己評価）
9	<ul style="list-style-type: none">○ 保護者への園評価・アンケートの取り組みの説明○ 設置者への中間評価の報告、改善策の検討
11～12	<ul style="list-style-type: none">○ 保護者へのアンケートの実施
1	<ul style="list-style-type: none">○ アンケートの集計・分析
2	<ul style="list-style-type: none">○ 保育・教育活動と運営の振り返り○ 最終評価の実施（職員の自己評価、園の自己評価）○ 保護者へのアンケート結果の報告と設置者への報告○ 設置者への最終評価の報告、改善策の検討

2 評価結果

総括的な自己評価について

<成果>

①保育・教育活動の充実

保育の計画と振り返りにおいては、記録をもとに保育の振り返りをすることで、子ども理解や保育の見直しをすることが出来た。安全管理においては、避難訓練やその後の振り返りを通して、日頃からいろいろな場面を想定し安全管理に努めるなど、職員の意識の向上につながった。

②職員の育成・資質向上や運営

研修に参加し、研修内容を保育にいかしている。研修での学びを共有し保育、食育などそれぞれの分野にいかすことが出来た。健康管理では日々の子どもの体調に気をつけ、感染症や疾病予防、早期発見、早期対応に努めた。職員の感染症対応の意識が高まり、衛生管理の充実につながっている。

③地域に開かれた園づくり

保護者アンケートを実施し、その中で得た保護者の保育所に対する思いや意見を受け止め、その後の保育に活かした。小学校との交流はコロナ禍で難しいことが多かったが、保小連絡会、授業参観、教職員による保育所体験など実施できる範囲で交流や情報共有を行い、子どもの育ちをつなぐことが出来た。

< 課題及び主な改善策 >

①保育の計画と振り返りにおいては、保育に活かすために、各自が記録を取り、振り返りを行いながら取り組んできたが、書類作成や振り返りの時間の確保が課題となっている。様式の見直しを行い、事務の効率化を図るなどの工夫をしていく。

安全管理においては、いろいろな場面を想定して避難訓練を行い、振り返りを行うことで改善策を考え、安全管理や危機管理、安全対応能力の向上を図っていく。災害の状況や想定により、必要な場合は避難場所の見直しを行う。

②職員の育成、資質向上のために、今後も研修参加の保障を行っていく。個々の学びにとどまらず、職員で共有し、園全体で日々の保育に活かしていけるよう取り組んでいく。

感染症については、今後も疾病予防、感染予防に取り組み衛生管理に気をつけていく。感染症についての学びの場を持ち、共通理解を図っていく。

③保護者との連携においては、保護者アンケートに寄せられた保育所や保育者に対しての指摘や要望について、真摯に受け止め改善に向けて取り組んでいく。保育所からの情報提供が不十分だったので、今後は子育てに関する情報、子どもたちの活動や発達、保育の意図が伝えられるように意識し保護者に向けて発信をしていく。

地域との連携では、地域の方による絵本の読み聞かせが休止状態にあるので、新型コロナウイルス感染症の状況をみて再開したい。また、保育所の絵本環境を見直し、絵本を整理したり、園便りやクラス便りなどで年齢に適した絵本や、クラスで読み聞かせを行っている絵本、子どもたちの好きな絵本などの紹介をしていく。

小学校との連携では、今後も計画的に連携し、情報交換や相互理解を図っていく。来年度は保護者に向けて、土居小学校長による講話を聞く場を、就学前に持つ予定である。

経営の柱	今年度の重点目標	評価項目	評価指標と評価結果				分析・考察
			取組指標	結果	成果指標	結果	
☆保育・教育活動の充実	身近な環境と関わる中で豊かな心と丈夫な身体を育てる	〔指導計画〕 保育の計画と振り返り	4 記録をもとに職員会などで報告・情報提供をし保育に生かす	3.4	4 記録と振り返りができ、保育に生かした職員 90%以上	3.1	日々の保育や子どもの姿を記録し、保育にいかしていくことを意識して取り組むことが出来た。子どもの様子を職員で伝え合い、共有することで子どもの成長を多角的に捉えることや保育の振り返りが出来た。記録のまとめなど、事務に関する時間を作ることが難しく課題である。
		3 記録の取り方を工夫する	3 75%以上				
2 気が付いたことを各自が記録する	2 50%以上						
1 振り返りや記録を取る時間を確保する	1 50%未満						
		〔安全管理〕 安全点検や保育者・幼児の安全対応能力の向上を図るための取り組み	4 保護者・地域の方と共に避難訓練をする	3	4 安全点検や安全対応能力の向上を図る行動が出来た 90%以上	3.6	毎月想定を変えて避難訓練を実施し振り返りを行った。新型コロナウイルス感染症の対応から、地域との連携は難しかったが避難場所として、場所の提供をしていただき、避難訓練が実施できた。遊具の点検、危険個所など気づいたことを報告し合い安全管理につなげた。
3 災害用伝言ダイヤルに取り組む	3 75%以上						
2 月に1回以上避難訓練をする	2 50%以上						
1 2ヶ月に1回遊具の点検をする	1 50%未満						
◆職員の育成・資質向上や運営	共通課題に向かう職員の協力的体制づくり	〔研修〕 研修内容を共有し、職員が協力して課題に取り組む	4 職員会の中で研修内容を共有して課題を出し合い、全職員が協力して課題に取り組み保育を向上させていく	3	4 研修内容を話し合い協力して保育の実施・向上することが出来た	3.1	研修に参加し日々の保育を振り返る場を持てた。学びをいかして業務に取り入れている。全職員で共有して課題に取り組むことが難しく、報告・連絡・相談などを更に密に行っていく必要がある。
		3 研修内容を共有し、課題に取り組む	3 保育の課題を共有し、課題に取り組む				
2 定期的な職員会の他、必要に応じて職員会を行い課題を出し合う	2 職員会を開き職員同士課題を共有する						
1 回覧や口頭で伝達する	1 研修内容や課題を理解する						
		〔健康管理〕 日常の感染予防・衛生管理等	4 疾病予防に取り組み、早期発見し感染予防に気をつける	3.6	4 日常の健康管理や感染予防衛生管理が出来た職員 75%以上	3.7	日々の衛生管理、手洗い、うがい、消毒などを行い、感染予防に努めた。子どもの健康管理では、視診を行い、体調の変化を早めに保護者に知らせ、受診や療養、感染防止、予防につなげた。園医と連携し、園便りやクラス便りなどで、疾病や感染症についての情報提供や周知を行った。
3 疾病予防に取り組み、衛生管理に気をつける	3 65%以上						
2 疾病予防に取り組む	2 50%以上						
1 健康管理に気をつけ観察する	1 50%未満						
◎地域に関わられた園づくり	保護者や地域から信頼される保育所作り	〔保護者との連携〕 子どもの育ちや保育への理解を深める	4 必要に応じて家庭訪問や面談を行う	3.1	4 子育ての悩みを相談してくれる保護者 75%以上	3.6	日々の子どもの姿や成長を伝え、保護者との関わりを密に取れるようにしてきた。その中で子育ての悩みや質問、相談なども増えてきた。子育てを共に考えたり、必要に応じて、個人面談を行い子どもに対しての共通理解を深める機会を作った。
		3 子どもの様子や子育てについて連携・共有できる機会を設ける	3 50%以上				
2 保育の情報をわかりやすく発信する(園・クラス便り・行事便り)	2 35%以上						
1 登降所に子どもを中心とした話をする	1 35%未満						
		〔小学校との連携〕 計画的に連携し相互理解する	4 保小連絡会や支援ミーティング体験学習等を通して情報交換する	3	4 課題を共有しスムーズな接続につなげることが出来た	3	情報共有の場が少なかったが、限られた中で連携がとれるよう努めた。保小連絡会や聞き取りを通じて、子どもの姿を共有した。就学に向けての一日入学・体験入学などが中止となり、コロナ禍での連携の難しさがあった。
3 職員間で交流し情報交換する	3 園の課題や子どもの気持ちを振り返り発達を見通した保育の実践につなげた						
2 研修を通して理解をする	2 接続に関した学習を通して理解につなげた						
1 行事を通して交流する	1 年長児が小学校を身近に感じる事が出来た						